

| | | | | | |
|---|--|---------------------------------|---|---------------------------------|---|
| 呉工業高等専門学校 | | 開講年度 | 令和04年度 (2022年度) | 授業科目 | 英語Ⅲ |
| 科目基礎情報 | | | | | |
| 科目番号 | 0033 | | 科目区分 | 一般 / 選択必修 | |
| 授業形態 | 講義 | | 単位の種別と単位数 | 履修単位: 1 | |
| 開設学科 | 機械工学科 | | 対象学年 | 2 | |
| 開設期 | 前期 | | 週時間数 | 2 | |
| 教科書/教材 | NEW FLAG English Communication II (増進堂), NEW FLAG English Communication II Workbook (増進堂), MEW Exercise Book Expansion 1400 (いいずな書店), Listening Box 2 (啓林館), Reading Flash Stage 3 (桐原書店) | | | | |
| 担当教員 | 周 躍 | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 1. 「英文の構造」「段落の構成」「英文の論理展開」などを意識しながら、まとまった英文を整理して理解することができる。 2. 初見の英文でも、未知語の推測や文法・構文の知識を駆使して内容を理解することができる。 3. 英語で聴いた内容を理解し、正確かつ適切に応答することができる。 4. 副教材 (『MEW Exercise Book Expansion 1400』) の語句を覚え、正確かつ適切に使うことができる。 | | | | | |
| ループリック | | | | | |
| | 理想的な到達レベルの目安 | | 標準的な到達レベルの目安 | | 未到達レベルの目安 |
| 評価項目1 | 「英文の構造」「段落の構成」「英文の論理展開」などを意識しながら、まとまった英文を整理して理解することができる。 | | まとまった英文を理解することができる。 | | 「英文の構造」「段落の構成」「英文の論理展開」などを意識的に学習することなく、まとまった英文を整理して理解することができない。 |
| 評価項目2 | 初見の英文でも、未知語の推測や文法・構文の知識を駆使して内容を適切に理解することができる。 | | 初見の英文でも、未知語の推測や文法・構文の知識を駆使して内容の概要を理解することができる。 | | 初見の英文で、未知語の推測や文法・構文の知識を駆使できず、内容を理解することができない。 |
| 評価項目3 | 英語で聴いた内容を理解し、正確かつ適切に応答することができる。 | | 英語で聴いた内容をほぼ理解し、ある程度正確かつ適切に応答することができる。 | | 英語で聴いた内容を理解し、正確かつ適切に応答することができない。 |
| 評価項目4 | 副教材 (『MEW Exercise Book Expansion 1400』) の語句を覚え、正確かつ適切に使うことができる。 | | 副教材 (『MEW Exercise Book Expansion 1400』) の語句を覚え、使うことができる。 | | 副教材 (『MEW Exercise Book Expansion 1400』) の語句を覚え、使うことができない。 |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | | |
| 学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HA) | | | | | |
| 教育方法等 | | | | | |
| 概要 | 言語運用の4技能(読む・書く・聞く・話す)のうち、特に「読む」および「聞く」を重点的に向上させることを目的とする。 英語ⅢおよびⅣでは、「英文の構造」「段落の構成」「英文の論理展開」を意識しながら読み、未知語の推測や文法・構文の知識を駆使して内容を理解することが求められる。 教科書の音読と精読を通して読解力の育成を図るとともに、リスニング演習や速読演習をとおして語彙や表現を身につけることを目的とする。 | | | | |
| 授業の進め方・方法 | 単語テストを10回実施する。リスニング演習、速読演習を毎回の授業で行う。 新型コロナウイルスの感染状況によっては、遠隔授業に移行し、シラバスに変更が行われることがある。 | | | | |
| 注意点 | ・教科書や副教材だけでなく、辞書も必ず持参して活用すること。 ・毎回必ず予習をして授業の臨み、わからないことがあったら授業後に質問をしたり、担当教員のOffice Hourを活用して質問すること。 ・配付するプリントが多いので、各自でファイルを準備しておくこと。 | | | | |
| 授業の属性・履修上の区分 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> アクティブラーニング | | <input type="checkbox"/> ICT 利用 | | <input type="checkbox"/> 遠隔授業対応 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業 | | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| | | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 | |
| 前期 | 1stQ | 1週 | ガイダンス, 春休み明け課題試験 | リスニング演習, 速読演習 | |
| | | 2週 | Lesson 1 | 単語テスト, リスニング演習, 速読演習 | |
| | | 3週 | Lesson 1 | 単語テスト, リスニング演習, 速読演習 | |
| | | 4週 | Lesson 1 | 単語テスト, リスニング演習, 速読演習 | |
| | | 5週 | Lesson 2 | 単語テスト, リスニング演習, 速読演習 | |
| | | 6週 | Lesson 2 授業まとめ | リスニング演習, 速読演習 | |
| | | 7週 | 中間試験 | | |
| | | 8週 | 答案返却・解答説明 | | |
| | 2ndQ | 9週 | Lesson 2 | 単語テスト, リスニング演習, 速読演習 | |
| | | 10週 | Lesson 3 | 単語テスト, リスニング演習, 速読演習 | |
| | | 11週 | Lesson 3 | 単語テスト, リスニング演習, 速読演習 | |
| | | 12週 | Lesson 3 | 単語テスト, リスニング演習, 速読演習 | |
| | | 13週 | Lesson 3 | 単語テスト, リスニング演習, 速読演習 | |
| | | 14週 | 前期の授業まとめ | 単語テスト, リスニング演習, 速読演習 | |
| | | 15週 | 期末試験 | | |
| | | 16週 | 答案返却・解答説明 | | |
| モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標 | | | | | |

| 分類 | 分野 | 学習内容 | 学習内容の到達目標 | 到達レベル | 授業週 | |
|-------|---------|------|----------------|--|-----|--|
| 基礎的能力 | 人文・社会科学 | 英語 | 英語運用の基礎となる知識 | 聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。 | 3 | |
| | | | | 明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 | 3 | |
| | | | | 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。 | 3 | |
| | | | | 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 | 3 | |
| | | | 英語運用能力の基礎固め | 日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。 | 3 | |
| | | | | 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。 | 3 | |
| | | | | 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。 | 3 | |
| | | | | 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。 | 3 | |
| | | | | 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。 | 3 | |
| | | | | 母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。 | 3 | |
| | | | 英語運用能力向上のための学習 | 実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。 | 3 | |
| | | | | 自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。 | 3 | |
| | | | | 母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。 | 3 | |
| | | | | 実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。 | 3 | |
| | | | | | | |

評価割合

| | 定期試験 | 単語テスト | 受講態度 | | 合計 |
|---------|------|-------|------|---|-----|
| 総合評価割合 | 55 | 30 | 15 | 0 | 100 |
| 基礎的能力 | 55 | 30 | 15 | 0 | 100 |
| 専門的能力 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分野横断的能力 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |